

富士市アマチュア無線

非常通信協力会

災害時初動マニュアル

- 1 通信系統図
- 2 日常の整備
- 3 初動時の情報収集
- 4 センター局・本部局の設置と運用
- 5 地区情報連絡員の設置と役割
- 6 参考資料

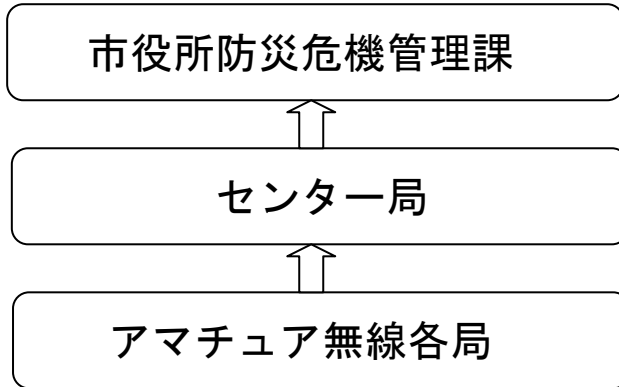
(1) 平成 23 年 3 月 11 日の記録

(2) 非常通信実施後の報告書

平成 29 年 1 1 月

1 通信系統図

(1) 初動時の情報収集を行うとき

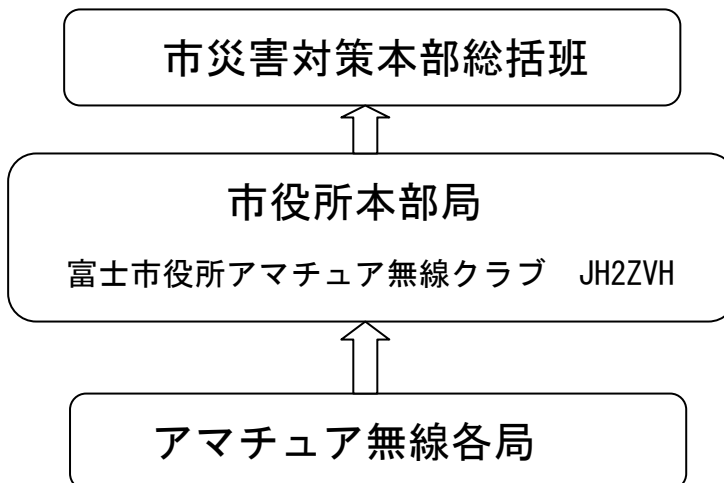


災害等が発生した直後を想定

439.92MHz レピーターを使用

センター局は誰がなってもよい。

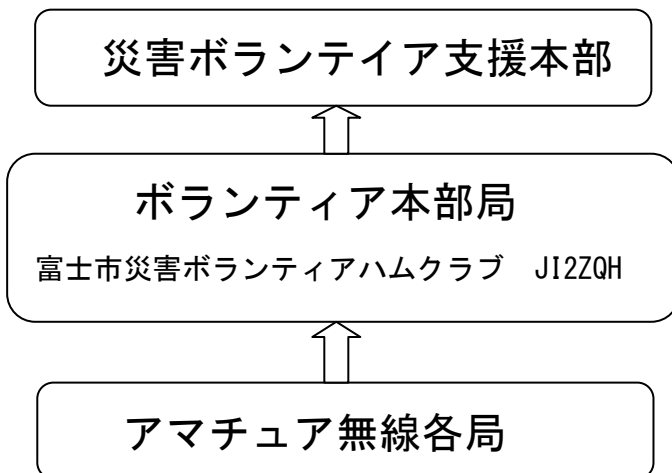
(2) 災害が発生し、非常通信を行うとき



非常時を想定

市役所本局局は、市総括班との協議を行った上で設置する。
設置場所は、市消防防災庁舎3階無線室とする。

(3) ボランティア活動を行うとき



災害ボランティア支援本部の発足時を想定

設置場所は、富士市フィランセとする。

2 日常の整備

◎ 基本的事項

次のレピーターに、ときどきアクセスし、応答があることを確認する。

富士市永田町	439.92MHz	JP2YEU
--------	-----------	--------

◎ 送信電波のチェック

自局の電波がどこまで届いているかを知るため、近隣のレピーターにアクセスする方法がある。ただし、他のユーザーに迷惑をかけないように注意すること。

伊豆市菅引入	439.34MHz	JP2YDH
静岡市葵区	439.98MHz	JP2YFX
焼津市藤守	439.94MHz	JP2YCS

◎ 他局とのコミュニケーション

毎月10日の21時から439.92MHzレピーターで行われる当協力会のロールコールをワッチし、参加する。

3 初動時の情報収集

◎ 発災直後

- ・地震等が発生したときは、まず自分の身の安全を守る。
- ・家族の安全を確認する。
- ・家の中の状況を把握する。

◎ 無線機を用い、439.92MHzのレピーターをワッチする。

- ・交信できる相手を見つけ、情報のやりとりを行う。
- ・相手がいなときは、自分から呼び出しを行う。
- ・市役所又はフィランセに本部局が開設されていないときは、センター局を置いて通信をコントロールする。
- ・誰でもセンター局になれる。
- ・「被害がない」ことも重要な情報である。

◎ 自宅での運用のほか、安全を確認しながら、外部の情報を得る。。

- ・近隣に被害が発生していないか状況を把握する。
- ・近くの広場、公園、神社、津波避難ビルなどの様子も把握する。
- ・自主防災会の集合場所へ行く。
- ・市の指定避難所である学校のグラウンドへ行く。

- ・指定避難所となる建物の安全確認ができるまで外で待機する。
- ・避難してくる人々や駐車場の状況を把握する。
- ・避難所に入ることができたら、無線機を身近に置いて、避難所の開設準備に協力する。
- ・医療救護所が開設されているときは、医療に関する情報も発信する。

4 センター局・本部局の設置と運用

◎ センター局

- ・本部局が設置されていないときは、個人の判断でセンター局を設置する。
- ・センター局となった場合は、オンエアしてくる局のコントロールを行う。
- ・送信時刻、通信内容などを記録にしておく。
- ・集まった情報は、電子メール、電話、FAXで、市の防災危機管理課へ送る。

宛先 メール : bousai@div.city.fuji.shizuoka.jp

電話 : 0545-55-2715 FAX : 0545-51-2040

- ・災害が発生しなかった場合は、この段階で終了となる。

◎ 市役所本部局

- ・市役所本部局を設置する場合は、協力会会長は、災害対策本部総括班と事前に協議を行う。
- ・設置する局は、富士市役所アマチュア無線クラブ（JH2ZVH）とする。
- ・無線業務に当たる者は、所属団体、役割等が容易にわかる服装をする。
- ・情報は、災害対策本部総括班に送る。

◎ ボランティア本部局

- ・ボランティア本部局は、災害ボランティア支援本部と連携して設置する。
- ・設置する局は、富士市災害ボランティアHAMクラブ（J12ZQH）とする。
- ・情報は、災害ボランティア支援本部情報整理班へ送る。
- ・富士川地区との連絡を常時行う必要がある場合は、富士川ふれあいホールに支部局を置く。

◎ 運用周波数等

- ・439.92MHzのレピーターを、基本運用周波数とする。
- ・通信が輻輳したときは、各局の判断でサブ周波数を設定する。
- ・50MHz帯のFMは、確実に交信できるバンドとして、今後各局に整備を呼び掛けていく。

- ・非常通信が終了したときは、資料を作成し、東海総合通信局に報告する。このとき、日本アマチュア無線連盟にも写しを送る。
- ・巻末の「6 参考資料」に東北地方・太平洋沖地震のときの非常通信の資料を添付してある。

5 地区情報連絡員の設置と役割

◎地区情報連絡員の設置

- ・市内を6つの地区に分け、それぞれの地区に複数名の地区情報連絡員を置く。

中部地区	吉原、伝法、今泉、青葉台
東部地区	吉永、元吉原、須津、浮島、原田
北部地区	富士見台、神戸、吉永北、大淵
南部地区	富士駅北、富士北、富士駅南、田子浦、富士南
西部地区	岩松、岩松北、富士川、松野
北西部地区	鷹岡、広見、天間、丘

注：上記区分は、災害対策本部地域担当部の所管区分に準じたものである。

◎地区情報連絡員の役割

- ・特定の地域に災害が集中した場合は、当該地域の情報連絡員に対し、協力を呼び掛けるものとする。
- ・地域情報連絡員には、居住地の過去の災害の歴史、周辺の危険な個所等地域に特有な情報に精通していただくよう願います。

6 参考資料 . . . (1) 平成23年3月11日の記録

東北地方・太平洋沖地震 平成23年3月11日(金)メモ

No.	時間	状況
1	14:46	地震発生
2		富士市役所全庁舎停電
3		エレベーター、パソコン、インターネット機能せず。庁内放送設備は動作
4		携帯電話不可、携帯メール可 情報収集は電池式ラジオ、携帯電話のワンセグTVによる。
5	15:00	市役所内からTH-F7にて情報収集開始
6		市内の2レピータ応答なし。
7		静岡市の439.60MHzレピータ(JP2YCQ)は応答あり。
8	15:29	自家発電により停電復旧
9		439.92MHz永田町レピータ動作開始
10		439.72MHz大淵レピータ応答なし
11		
12		◎ JA2GDK中村さんは永田町にて、JH2VJY風岡さんは中島地区にて開局
13		◎ JP2XPO岩間さん、JH2WYU片川さんはフィランセに移動し、開局
14		使用周波数は439.92MHz
15	15:30	15:30から16:00まで JA2GDK及びJH2VJYが交信した局
16		JF2UAQ 田中さん 鷹岡地区 停電中、被害なし
17		JA2CNT 新村さん 須津地区 車で移動中。被害なし
18		JR2DEH 田辺さん 松野地区 被害なし
19		JG2DPJ 渡辺さん 大淵地区 停電中、被害なし
20		JN2FBC 西村さん 鷹岡地区 運用局問い合わせ
21		
22	16:21	16:21から17:38までJA2GDKが交信又はワッチした局
23		JA2QYN 菅谷さん 停電情報及び交通信号の点灯状況についてQSPあり
24		JR2GBJ 鈴木さん 広見地区、停電中、被害なし。
25		JF2UAQ 田中さん 町内見回りし、被害なしを確認。
26		JF2UAL 池田さん 岩松地区
27		JG2DPJ 渡辺さん 大淵地区
28		JE2XOP 望月さん かぎあな地区
29		JJ2TFF 入海さん 広見地区
30		JR2IIC 西村さん 鷹岡地区
31		◎ 各局から特に被害情報はなかったため、以後、順次閉局

参考資料 . . . (2) 非常通信実施後の報告書

東海総合通信局長 殿
(写し: 日本アマチュア無線連盟 殿)

平成23年3月24日

富士市アマチュア無線非常通信協力会
会長 西村 密雄
呼出符号 JR2IIC
住 所 富士市入山瀬 662-1

非常通信の実施について(報告)

富士市アマチュア無線非常通信協力会では、去る3月11日(金)に 東北地方を震源とし発生した地震の際、人的物的被害状況の把握報告のため下記のように非常通信を行いましたので電波法第80条1項の規定に基づき会を代表し報告いたします。

記

①実施日時 平成23年3月11日(金) 15時00分 ~ 17時00分

②周波数帯 439.92MHz (レピータ 識別信号 JP2YEU)

③電波の型式 F3E

④説 明

14時46分地震発生後、上記 439.92MHzのレピータを使用し、JA2GDK(中村)、JH2VJY(風岡)、JP2XPO(岩間)、JH2WYU(片川)各氏が中心となり市内の人的および物的な被害情報を収集し富士市災害対策本部に収集した情報の概要を、その後、詳細情報をEメールにて通報した。

⑤非常通信参加局

JA2CNT	新村勝彦
JE2XOP	望月保策
JG2DPJ	渡辺清太郎
JJ2TFF	入海隆夫
JR2GBJ	鈴木 旭

JA2GDK	中村増美
JF2UAQ	田中隆徳
JH2VJY	風岡 進
JN2FBC	西村公則
JR2IIC	西村密雄

JA2QYN	菅谷守孝
JF2UAL	池田 實
JH2WYU	片川文夫
JR2DEH	田辺芳樹
JP2XPO	岩間和作